

リサイズ

vol.16



イラスト さかいみる

福岡県在住。2011年から続けている、東日本にオリジナル絵本を制作して送る活動「絵本deえがお」の絵本が、2015年3月に「宮城県震災デジタルアーカイブ」に登録、掲載、永年保存される。

ホームページ
<http://milart.info>
 ブログ
<http://milart.info/blog>

カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部
 NAGASAKI TIMBER CORP.
 福岡県古賀市天神5-10-5
0120-30-0354
 TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208
<http://www.howsetop.com>

支店 _____ 事業部 _____

- ◎本社総合展示場
- ◎注文住宅事業部
- ◎福岡西展示場
- ◎ログハウス事業部
- ◎福岡南展示場
- ◎リフォーム事業部
- ◎(株)長崎材木店リアルエステート
- ◎不動産事業部
- ◎ランドシップカフェ



第3回! ワークショップ♪ 《弊社 水廻りショールームにて》

3月17日(火) アロマ&リンパマッサージ教室開催!

手作りブレンドのアロマオイルを使ってリンパマッサージ♪
肩こりや首の疲れ・顔のリンパの流れをすっきり整えていきます。



松雪先生

教えて下さったのは、クリニカルアロマスクール&サロン Aromaline (アロマリーネ)の松雪先生。自作のアロマオイルを使って、首まわり、顔まわり、頭皮のリンパマッサージを丁寧に教えていただきました。いろいろな質問にも的確なアドバイスを頂きました。

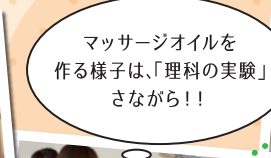
♡♡松雪先生の優しく
繊細なマッサージに
一同感動♡♡

☆ワークショップに関する
お問い合わせは

フリーダイヤル
0120-30-0354
(担当/まにわ)



Aromalineの松雪先生をお招きしました♪



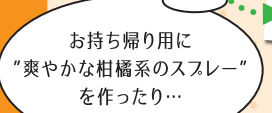
マッサージオイルを作る様子は、「理科の実験」さながら!!



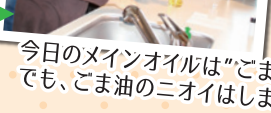
そんなにそっと優しく? すごく丁寧に教えて頂きました。



皆さん、素敵な香りを身にまとい笑顔で教室を後にされました。(^^)



お持ち帰り用に「爽やかな柑橘系のスプレー」を作ったり…



今日のメインオイルは「ごま」! でも、ごま油のニオイはしませんでした(笑)

「WOOD VILLAGE」スタッフ缶バッジを付けてお出迎え♪

弊社は今年4月、創業118年目を迎えると共に「本社総合展示場」を新感覚く住宅展示場「WOOD VILLAGE」としてグランドオープンしました。敷地内には、5棟のモデルハウスと水廻りショールームを常設しています。また、ガーデニング雑貨や小物など楽しさ満載のナチュラルショップ『BIO FRAME』もオープンし、お庭のプランニングからスタイルのある家と暮らしをトータルに提案しています。「WOOD VILLAGE」スタッフはお揃いの白い缶バッジを付けて皆さまをお迎えしています。何かお困りの事やご質問などがありましたらお気軽に声を掛けてください♪

お揃いの白い缶バッジを付けて皆様をお迎えいたします!



WOOD VILLAGE STAFF



オシャレな雑貨もあるよ(^^)



“陽だまりデッキ”お披露目です!!

とても心地よい場所です!
是非一度遊びに来てください!



水廻りショールームに“陽だまりデッキ”が完成しました。廊下に面した大きな大きな窓からまっすぐ延びるデッキには、朝陽・夕陽と一日中ひかりが溢れています。ちょうど風の通りみちにもなっていて、海辺からの風を心地よく感じる事もできます。デッキ先端の螺旋階段からはウッドビレッジ中央の里山へと抜ける事ができます。木漏れ日がゆらゆらと揺れるふわりとした地面に降り立つと、一瞬、時を忘れてしまうような不思議な感覚にとらわれます。皆さんも「ちょっと疲れたな…」と感じたら、息抜きにいらしてくださいね。



ARIZONA 白木のスタッフ紹介

プランナー
～設計 八川さん編～

日々奮闘し続けるスタッフの方を様々な角度から紹介する「スタッフ紹介」コーナーです。
今回は一級建築士の八川さんにしつこく密着しました！



今回もしつこく密着させていただきます。

ARIZONA 白木

広告会社勤務。冬の寒い日でもジャケットの中は半袖シャツで日々奮闘中。目先の目標は体重10kg減量！！今度こそ！今度こそは必ず実現します！！

設計士って何をしているんだろう？



朝礼後、営業の吉田さんと現場の打合せから一日が始まりました。



営業の吉田です！



ご来店いただいたお客様にプランのご提案です。

一生懸命考えさせていただきましたのですが。



親切に、丁寧にプラン内容を説明していきます。



2Fの水廻りショールームを使ってお客様のご自宅を再現していきます。



営業の立石です！

営業部トツスの立石さん

営業の出口さん

まだ勉強中の新人の甲斐さん

八川さんがひと休み中に営業の方を「バシヤッ！」



営業担当の西本さん

リノベーションがすでに始まっている現場での打合せです。こちらは“ホームインスペクション(住宅診断)”で住宅の現状を報告できる資格をもつ八川さんが、施主様からご依頼を受けて中古住宅を診断し、診断結果に納得された施主様が長崎材木店グループの不動産部から購入した物件です。



基本笑顔ですが、お客様の為に「NO」とお伝えすることもあります。

問題点をお客様に率直に話し、最善のご提案をするのも設計士の仕事です。



施工状況の確認も怠りません。



増築と全面改修をしている施主様宅で、屋根や壁などの色の打合せです。



今の壁の色がどの色が調べています。



八川さん、密着終了です。開放します(笑)

帰社後、すぐに別のプランの作成にとりかかりました。



白 木:「長崎材木店の設計士ってどんな仕事をするんですか？」
八川さん:「プラン作成、屋根・壁・床の素材決めから色決めまで、耐震診断を含めた家の診断、施工状況のチェック、問題解決のための代替案のご提案、お客様にフィットするような建築物にするための打合せ及びご提案、設計の目からの中間検査、etc……。」
白 木:「……………」(汗)
白 木:「話しを変えて、八川さんが大事にしていることは何ですか？」
八川さん:「自分でも『暮らしたい』と思える、空間づくりです。」



ARIZONA白木が見た八川さんの人物像

「いつ見ても八川さんは忙しそうにしているなあ。設計士って何をしているんだろう？」という素朴な疑問から今回の八川さんへの密着が決定しました。八川さんに同行してみて、設計士のやる仕事は私の考えていた3倍以上でした。一級建築士で、“ホームインスペクション”の資格を持つ八川さんに言われるとお客様も安心してご相談できるだろうとつくづく感じた密着となりました。

キッチンが「野菜の似合う場所」に変身 住み慣れた家がもっと好きになった

長崎材木店 リフォーム事業部

リノベーション
Renovation
Works 03



after

使えるものはリメイクして使いまわすなど、新旧のバランスに配慮。天井は板張りに、壁は漆喰にして、自然素材の温もりを感じられる空間に生まれ変わった

東区在住
2016年
リノベーション



キッチンの隣を区切って居住空間をコンパクトにしたので冷暖房効率が改善。廊下側の建具は古い建具をリメイクしたもの



- 機能重視のステンレスキッチン
- パントリースペースがほしい
- エアコンが効く間取りに変更したい
- 洗面・浴室など水回りを新調

欲しい機能だけ絞り込んだ
オーダーメイドキッチン



築25年の住まいは水回りも傷んでいたため、気になる部分をリフォームすることにしました。以前から雨戸の取り付けなど小さい工事を頼んでいた地元の工務店「長崎材木店」に工事を依頼した。
ご主人の趣味は畑仕事。季節ごとにさまざまな野菜を育て、奥さまがそれを調理する。そんな食を大切に暮らして続けたTさん夫妻にとって、キッチンは重要な場所。育てる人と作る人の連携プレーには「見かけうんぬんよりも、機能性重視」と、奥さまはステンレスキッチンをオーダーメイド。シンクは大きめで、野菜の水切りスペースもあるすぐれもの。収納スペースには扉をつけずオープンに。「このほうが鍋も野菜もどかんと置けるし、片付けも簡単で衛生



上／内窓は和紙を太鼓張りしたオリジナル内障子。光をソフトに取り入れつつ、断熱効果もあるというすぐれもの。右／窓辺のカウンターは干し野菜づくりに便利



「シンプルで使いやすい」を大切にしている奥さま。洗面台はタイル造作で、実験用シンクを組み合わせた

日頃使わない調理道具や収穫してきた野菜、着替えなどはすべてここに置くようにしたのでリビング周りが片付くようになった



favorite space

【キッチン】

娘さんの自宅をお手本に、奥さまもリフォームを機に機能重視のオールステンレスキッチンを導入。シンクの隣に野菜の水切りスペースを設けたのはオリジナルデザインだ

的。もともと調理器具も多くないし、使わないものはパントリーにしまっておけばいいでしょ。キッチンを新調、といえば「多機能で隠せる収納」をイメージしがちだが、このミニマム発想はベテラン主婦の真骨頂かもしれない。

古いものはリメイクしてこれまでの暮らしになじませる

以前はL字型の24畳1間だったLDKはエアコンの効きも悪く、冬寒くて夏暑くて大変だったとか。そ

ここでキッチンの隣を区切ってパントリーにすることで居住空間をコンパクトに。さらにダイニングの窓に内障子を取り付け、外気の影響と直射日光をブロックすることで冷暖房効率をアップさせた。様子を見に来た娘さんも「パントリーに着替えるも置けるようになったので便利になったし、リビングに生活感がなくなりすっきりした」と、両親の暮らしの変化に目を細める。

奥さまは建具も床材も新しいものに交換するつもりだったそうだが、リフォームプランナーは「まだ使えるものを取り替えるのはもったいない」と、建具はリメイクして、床はワックスの塗り直しで対応した。「使えるところを残しつつ、要望に確に答えてくださってありがたいです。住み心地もよくなって満足しています」と笑顔で答えてくれた。

一級建築士が
ご相談に応じます。

お客様のこだわりや住まいに対する想いなどを理想の形にするため、ご納得いただけるまで打ち合わせさせていただきますので、お気軽にご相談下さい。

☎ 0120-30-0354



階段の手すり取付 《ハンディマン 太夫本》

宗像市T様邸にて、階段手すり取付を行いました。「階段が急で降りる時に恐くて落ちそう」とのこと、工事の依頼がありました。手すりをつけることにより安心して降りれるようになりましたとお喜び頂きました。



before

after

ガラスの入替 《ハンディマン 江崎》

福岡市東区のS様邸にてガラスの取替工事を行いました。お伺いした時は、ガラスが割れており大変危険な状態でした。今は、ガラスより軽くて割れにくいアクリル材をガラスの代用品として入れ替えるケースも増えています。ガラス取替の際は是非お問い合わせください。



before

after

どんなことでもお気軽にお問い合わせください!

◎メンテナンス課 ハンディマン

TEL.0120-30-0537

OB様限定
**ハンディマン
割引チケット**
網戸張り替え1枚無料券
有効期限/2015年7月13日(月)~9月30日(水)
《譲渡無効》

ハンディマンの 新サービス

網戸・障子・襖をお客様が直接弊社に持込・引取されると

特別料金(4割引)になります。 ※詳しくはお問い合わせください!

編集後記

丈夫で長持ちし愛される家

私事ですが、本日は浮羽での山仕事。海拔200メートルの山の上。昨年は露天風呂を作ったのですが、今年は畑を作ったり、実のなる木を植えています。くり、すもも、杏、イチジク、サクランボ、くるみ、ブルーベリー、夏みかん、ゆず、レモン、かぼす等々。もちろん全て無農薬。安心安全な果実。畑では、野菜にオクラにトマト。

畑仕事が終われば露天風呂で一汗流し。夜は木になったクルミをつまみにウイスキー、焼酎にかぼすを浮かべたり。翌朝はたわわに実った無農薬のフルーツ三昧の朝食、お昼は野菜のサンドウィッチ。たまにはピザを焼いたり…。なんていう妄想。楽しみです。

ところで、現代の野菜や果物は農薬だらけ。お茶なんかも消毒するんですよ。実態は何回も何回も農薬をかけてつくられているのです。農薬を使って作るのが当たり前というのが現実です。

我々の家作りに関してですが、我々の家の最大の特徴は、「丈夫で長持ちし愛される家」であるということ。自然素材住宅ルネッサンス、用の美。

『我々、長崎材木店の考え。』

我々の作る建物は地域の景観に馴染み、長期に愛される家ではなくてはならない。我々のつくる家は長期の使用に耐える物で

なくてはならない。屋根は最低限でも30年は持つ仕様でないとならない。軒は夏の暑い日差しを避け、雨から壁を守る物でないとならない。壁はコーキングの打ち直しなどのメンテナンスがいるものであってはならない。内壁は不快なおいを出すものであってはならない。尚且つ呼吸し湿度調節が出来る物出なければならぬ。床は肌に直接触れる唯一の物であり暖かい自然の物でなくてはならない。構造材は日本風土に合った九州の木でなくてはならない。室内建具は広がり間取りを実現出来る様、引き戸でなくてはならない。長期に於ける世帯変化に耐える様に間取りはシンプルでなければならぬ。直下率を重視する家は家族を守るシェルターでなければならぬ。

財力のある人は別として、もう二度と建て替える事は出来ないんです。半年近くで家は出来るのですが、その後ずっと住み続けたいといけないもの。

これだけ高価な物を、高い安いなど何の知識もないまま建てるなんて…。野菜や果物の農薬と同じですが、知らなくて本当に怖い事なんです。

代表取締役 **長崎 秀人**

